

# 学びのススメ

## 読書のススメ

現在、第56回「こどもの読書週間」期間中です。みなさん、知っていましたか？

子どもたちにもっと本を！との願いから、「こどもの読書週間」

は1959年（昭和34年）にはじまりました。もともとは、5月5日の「こどもの日」を中心とした2週間（5月1日～14日）でしたが、2000年より、今の4月23日（世界本の日・子ども読書の日）～5月12日になりました。

漢字コンテストが終わり、今週のSプロは読書となります。「こどもの読書週間」とからめて、読書に対する意識を高めたいと思います。また、学校だけではなく家庭でも是非、読書をする習慣をつけていきましょう。1日10分程度でもいいので、家庭学習の一部として読書を位置づけてみてはいかがでしょうか？

以下、読書がもたらす効果をあげておきます。よい効果がたくさんありますので、是非読書に親しんでください。

いつもいっしょ、本といっしょ。



2014・第56回こどもの読書週間

4/23～5/12

### 【効果1】思考力を養うことができる。

→ 想像力がふくらみ、思考力が育つ。

### 【効果2】人の気持ちをくみ取れるようになる。

→ 登場人物の気持ちを読み取ることで、周りの人の気持ちをくみ取れるようになる。

### 【効果3】集中力がアップする。

→ 小さな頃から読書をする習慣を持つことで、集中力がアップする。

### 【効果4】リラックス効果が高く、ストレスを解消できる。

→ たった6分間の読書が、ストレスの3分の2以上を軽減する効果があるそうだ。

### 【効果5】語彙が豊富になり、表現力が育つ。

→ 文章を書いたり、話したりする時の表現力を高めることができる。

### 【「家読」のススメ】

平田村では「家読」<sup>うちどく</sup>を勧めています。（村広報No647参照）

- 家族で同じ本を読む
- 家読の日、時間を決めて家族で読む
- 読んだ本の感想を家族で話し合う
- 自分のお薦めの本を家族に教えてあげる
- 家族に本を読んであげる

ご家庭でも是非、「家読」の時間をとってみませんか？



